

SDGs への取り組み

OUR PRACTICES TO ACHIEVE THE SDGs

2022年度 年間活動報告について



【はじめに】

当社は、2020年3月に「国連グローバル・コンパクト」の理念に賛同し、参加を表明しました。そして、その活動における理念の遵守・実践に向けて、「持続可能な開発目標（SDGs）」を指標とした社内活動を開始しました。2020年度から始めた取り組みは丸3年となり、各本部における活動により課題達成への深度を深めています。

本報告書は、2022年度各本部の年間活動目標に基づき作成しました。それぞれの活動については、半期ごとの進捗確認と修正を行い、一年間の活動活性化に繋げています。一昨年から新型コロナウイルスの感染予防対策を行いつつ企業活動を継続し、医薬品の安定生産継続に努めました。今後、新型コロナウイルスの感染症対策は、政府方針のもと緩和されていきますが、従業員に対する健康増進の充実化を進めていくとともに、SDGsの理念に対して、自分事として我々一人ひとりにとってこの取り組みが「当たり前」となり、より良い職場環境の形成と安定的な企業活動の実施を目指しています。日々の活動における「環境問題への取り組み」や「働き方改革、職場環境の充実」を実現するために、従業員すべての人々の健康や地域社会の安全衛生の確保を踏まえ、さらに地球環境の保護にも配慮した企業活動をめざしていくことが必要であると考えています。

藤本化学製品株式会社
ESG推進室
2023年4月28日

2022年度 SDGs 活動目標

目標設定：2022/5/10

ESG推進室

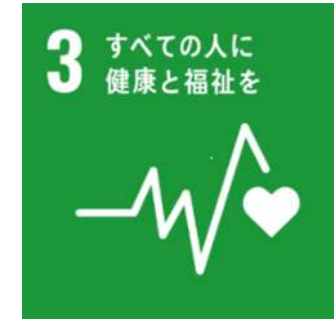
目標3：すべての人に健康と福祉を

事業目標：本業を通じた社会貢献の実施

- ・医薬品原薬の受託製造を通じて、GMP管理のもと、高品質な医薬品を製造し、安定的な供給を通じて、世界に人々の健康に貢献します。

【部門別目標】

技術本部	生産計画・納期の全うと、品質保証体制の維持管理
研究開発本部	医薬品開発を通じた社会貢献の実践
管理本部	法令遵守の徹底、社内活性化
営業本部	顧客満足度の向上



目標7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに

事業目標：省エネルギー化の推進

- ・エネルギー原単位に基づく、エネルギー消費量の削減を実施します。
- ・温室効果ガスの削減に貢献する設備、機器の導入を推進します。

【部門別目標】

技術本部	ISO14001、省エネ活動を通じた環境対策実践
研究開発本部	環境負荷を低減した医薬品製造への貢献
管理本部	ニューノーマルなデジタル経営へ移行
営業本部	営業活動の効率化



目標8：働きがいも経済成長も

事業目標：事業活動を通じた人権尊重，法令の遵守

- ・働き方改革の推進による社内活性化を実現します。
- ・社内人材の活用、将来を見据えた計画的な人材採用を行います。
- ・サプライチェーン全体でのCSR調達を強化します。

【部門別目標】

技術本部	時間外労働の削減と作業負荷の軽減
研究開発本部	継続的な研修システムの遂行と学会・講習会への参加
管理本部	会社戦略に沿った人材採用
営業本部	コミュニケーション力の強化



目標9：産業と技術革新の基盤を作ろう

事業目標：核酸医療ビジネスの収益

・希少疾患への適用が期待される核酸医薬品の製造方法の研究開発において、一般的に使われる固相合成法が確立していますが、藤本化学製品が新たに開発した液相合成用の担体(Fujimat®)を用いることにより、安価で大量生産が可能な液相合成による新規核酸医薬品の開発スピードアップが期待できます。また、上市後には、当社のGMP管理のもと、世界中へ医薬品の供給体制を一貫して構築することを期待できます。

【部門別目標】

技術本部	—
研究開発本部	新規技術開発による医薬品製造への貢献
管理本部	—
営業本部	当社技術の情報発信



目標12：作る責任使う責任

**事業目標：リスクマネジメント，危機管理の推進，原材料の使用量削減，
リサイクルの強化，環境にやさしい製造方法の開発。**

- ・ 原材料の安定的な調達を推進し、計画的な製造を行うことにより、エネルギー消費量を削減します。
- ・ 有害物質の使用量削減や、製品中の有害物質の管理強化をします。
- ・ 有機溶剤等のリサイクルを推進します。
- ・ 製造法の改良による、工程や原材料の削減を推進します。

【部門別目標】

技術本部	化学物質関連の法規制対応と廃棄物削減、リサイクル推進
研究開発本部	製造プロセスの最適化検討を通じた取り組みの推進
管理本部	CSR、リスクマネジメントの推進
営業本部	重要原料の複数ソース化と新技術確立



目標14：海の豊かさを守ろう

事業目標：工業廃水の管理

- ・ 活性汚泥処理設備の管理徹底と、大阪湾への処理水の規制値を達成します。
- ・ 下水道処理への排水管理を徹底します。
- ・ 高薬理活性施設で使用した、産業廃棄物の処理方法の管理を徹底します。

【部門別目標】

技術本部	KYK使用済み風袋、工業排水管理
研究開発本部	工業排水管理、水質管理の知識修得
管理本部	—
営業本部	産業廃棄物の有効活用



技術本部 実践目標

	実施項目	目標値、あるべき姿	目標No.	備考(製品名等)	年間の進捗	進捗度
泉北工場	CA及びFeの安定生産	計画物量達成	目標3		計画通り	100%
	Sの粉碎工程導入 (S増産体制確立)	PV完遂	目標3		次年度に実施予定(評価なし)	-
	S工程の技術移転 (S増産体制確立)	技術移転完遂	目標3		委託先PV終了し技術移転完遂	100%
	クレーム"0"の達成	0件	目標3		品質クレーム2件発生	0%
	環境に配慮した設備の導入	1件以上	目標7		1件	100%
	電気使用量の削減	0.1%削減	目標7		0.1%	100%
	適切な要員計画の立案、採用活動により作業負荷の軽減	稼働率75%以下	目標8		77.7%	0%
	無事故無災害の達成	0件	目標12		0件	100%
	溶剤リサイクル化等による省資源・省エネルギーの達成	1件以上	目標12		1件	100%
	高薬理活性設備の使用済み風袋管理の徹底	暴露0件	目標14		0件	100%
	活性汚泥処理日常のトレンド分析による傾向解析と対策の徹底	規制値順守	目標14		規制値順守	100%
金楽工場	Pの生産継続	各品目の変更検討実施	目標3		原料A,原料B,原料Cのメーカー変更確認(ユースト)は終了	100%
	調達困難原料の原料メーカー変更検討 原料A, 2原料B,原料Cのメーカー変更等					
	モノマー増産体制の構築	OH体技術移転完遂 T体技術移転完遂	目標3		OH体技術移転完遂 T体技術移転完了、1ロット製造実施	100%
	クレーム"0"の達成	0件	目標3		品質クレーム 1件発生	0%
	環境に配慮した設備導入	3件以上	目標7		3件実施済み	100%
	電気使用量削減	0.2%削減	目標7		0.26%削減	100%
	労働生産性向上の徹底追求	稼働率70%以下	目標8		原料供給停止により生産活動停止有(評価なし)	-
	無事故無災害の達成	0件	目標12		0件	100%
	廃棄物のリサイクル	1件以上	目標12		0件	0%
日常監視及び週1回の水質試験実施	規制値順守	目標14		規制値順守	100%	
CMC企画部	工場生産力アップのための設備投資計画の確実な実行	新管理棟Pjの遂行	目標3		工事出来高計画通り(3月末時点)	100%
	ISO14001,省エネ活動を通じた環境対策実施					
	・ISO14001活動の推進	JQA審査における指摘0	目標7		0件	100%
	・省エネ活動の推進	エネルギー原単位1%減達成	目標7		前年度比3.1%削減	100%
	化学物質関連の法規制対応	化審法、安衛法対応	目標12		漏れなく対応	100%
	EHS活動の推進	労災0達成 (両工場) 環境事故0 (両工場)	目標12 目標14		0件 (施工業者1件) 0件	100% 100%
品質保証部	供給者監査の計画的な実施	計画21件	目標3		42件	100%

研究開発本部 実践目標

	実施項目	目標値、あるべき姿	目標No.	備考(製品名等)	年間の進捗	進捗度
研究開発本部					2030年度の目標に対して	
	・開発品受託生産	2030年：90品目	目標 3		過年度6品目+3品目	10%
	・スケールアップ検討	2030年：90件	目標 7		過年度7件+6件	14%
	・全員ノー残業の実施	2030年：120回	目標 7		過年度12回+12回	20%
	・学会・講習会への参加	2030年：150件	目標 8		過年度42件+30件	48%
	・新技術開発の検討	2030年：30件	目標 9		過年度5件+3件	27%
	・製法改良検討	2030年：30件	目標 1 2		過年度7件+8件	50%
	・排水中のTOC異常ゼロ	2030年：100%	目標 1 4		異常なし（2年）	20%
・水質に関する勉強会の実施	2030年：10件	目標 1 4		2件	20%	
プロセス開発研究所					2022年度の目標に対して	
	・開発品受託生産	2022年：9品目	目標 3		3件	33%
	・スケールアップ検討	2022年：9件	目標 7		6件	67%
	・全員ノー残業の実施	2022年：12回	目標 7	合同で実施	12回	100%
	・学会・講習会への参加	2022年：8件	目標 8		18件	100%
	・製法改良検討	2022年：3件	目標 1 2		8件	100%
	・排水中のTOC異常ゼロ	2022年：100%	目標 1 4	合同で実施	異常なし	100%
・水質に関する勉強会	2022年：1件	目標 1 4	合同で実施	1件	100%	
基盤技術研究所	・全員ノー残業の実施	2022年：12回	目標 7	合同で実施	12回	100%
	・学会・講習会への参加	2022年：7件	目標 8		20件	100%
	・新技術開発の検討	2022年：3件	目標 9		3件実施中	100%
	・排水中のTOC異常ゼロ	2022年：100%	目標 1 4	合同で実施	異常なし	100%
	・水質に関する勉強会	2022年：1件	目標 1 4	合同で実施	1件	100%

管理本部 実践目標

	実施項目	目標値、あるべき姿	目標No.	備考(製品名等)	年間の進捗	進捗度
管理本部	エコシステムへの変革(DX)	基幹業務システムのBPR取組み 100%	目標7	OBIC SMILE	給与クラウド、基幹会計情報収集中	50%
	未来型オフィス実現	押印電子化、電子契約促進 100%	目標8	XPOINT クラウドサイン	新管理棟電子契約実施、クラウド請求書システム(ビルワン)導入稟議承認済	60%
	未来型オフィス実現	販売経理給与事務センター化 100%	目標8		事務部門を本社3Fへ集約	100%
	人材採用	新卒・中途 合計22名 (製造11人、品管5人、 研究4人、営業2人)	目標8	新卒24名 中途2名 合計26名採用	研究2名、品管8名、営業2名、製造14名 営業2名 品証職、製造職の中途採用継続	100%
	BCP見直し	全社的なBCP訓練実施 BCP記載内容更新	目標12		8/18に全社訓練実施	100%
					更新作業終了し11月に各部署へ配布	100%
	法令遵守の徹底	法に定められた有休 休暇の取得 時間外管理 (36協定の厳守)	目標3		有給休暇5未満の従業員へ計画取得依頼済 対象者は全員取得	100%
			目標3		毎月時間外集計を各事業所へ報告 (36協定違反なし)	100%
	社内活性	男性育休の推進	目標3		2022年度で8名取得	100%
		従業員満足度調査実施	目標3		ストレスチェックに合わせ実施	100%
		健康経営優良法人認定	目標3		3月に認定を受けた	100%
	ニューノーマルなデジタル経営へ移行	社内会議80%をWeb 会議実施	目標7	KDDI専用線 TEAMS	本社TEAMS通信ネットワーク工事済 環境改善し、通話環境を向上	100%

営業本部 実践目標

	実施項目	目標値、あるべき姿	目標No.	備考(製品名等)	年間の進捗	進捗度
営業本部	アンケート実施	3件	目標3		2件	66%
	省エネ活動推進	1件	目標7	グリーン調達推進	1件（消耗品のグリーン調達徹底）	100%
	勉強会	情報共有およびスキルアップ	目標8		日報、若手社員プレゼン実施	100%
	核酸事業化と生産体制構築	テーマ獲得（3件）	目標9		3件（Fujimat®販売、S社とのFujimat®使用契約締結、A社のキャッピング剤）	66%
	開発初期品拡充及び高薬理品導入	5件	目標9		3件	60%
	既存品安定供給	5件	目標12	製品A、製品Fe、製品G、製品CA、製品S	製品A：n-BuLi対応 製品Fe：定例会による進捗管理 製品G：フォーキャスト確認 製品CA：顧客の事業戦略確認による今後の動向確認 製品S：顧客スケジュールと生産体制確保	100%
	フロー合成情報収集	P社及び他CDMOの活動状況確認（5件）	目標9		5件以上（製薬企業へのP社によるプレゼン実施）	100%
	新素材、新商品開発	12件	目標12	商社機能および製品HA誘導からの新規化粧品素材	8件（電子材料素材の提案） 化粧品関連は0件	66%
	原料安定調達	5件	目標12	主要5製品	1社購入リストアップと調査開始	50%
	廃液有効活用	1件	目標14		2件（ヨウ素、Pd回収検討）	100%